グループホーム　森の家　第１回地域連携推進会議　　議事録

日時：令和８年２月 26 日（木）　　13：00～14：30
場所：グループホーム　森の家　相談室及び施設内訪問

○出席者
利用者、利用者家族、深見中原自治会会長、大和市民活動センター拠点やまと会長
森の家（サービス管理責任者）、森の家（利用者担当職員）

□開会のあいさつ

□出席者紹介
出席者各自、所属等含めての自己紹介を実施

□議題
～第１部～
○地域連携推進会議の目的
本年度より義務化となった「地域連携促進会議」を通じて、グループホーム利用者と地域住民とのつながりをつくることで、閉鎖的にはならず外部に開かれた“見える化”を構築し、地域行事等に参加しやすい関係・環境づくりを目指します。
（利用者と地域の関係づくり・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進・施設等やサービスの透明性と質の確保・利用者の権利擁護）

○障害について（身体障害の内部障害について）

～第２部～
○森の家の概要
森の家は家庭環境・住宅事情の理由や日常生活上の援助が必要な方に対して共同の住宅を提供し、相談・支援を行って行くことで利用者様の社会復帰と自立の促進を図ることを目的としています。（利用期間は２年その後は１年毎の延長あり）
利用料：月額 52,000 円
（内訳　居室料 48,000 円　共用区画部分における共益費 2,000 円　共用備品負担金 2,000 円）
水道光熱費 6,000 円
食事実食精算（大和病院　栄養課にて調理されたものを提供）
→朝食 200 円　昼食 400 円　夕食 400 円（1 日 1,000 円）

○施設等地域の連携

～障害についての理解～

精神疾患や精神障がいについては、周りから見て分かりにくいため、社会においても十分に理解されていない状況があります。具体的には気分が沈む、意欲が出にくい、考えがまとまりにくい等の精神症状により、学習や労働、日常生活、対人関係等生活に支障がでてきます。社会全体において、理解を更に深め、当事者や家族などの思いをしっかりと受け止めるとともに、地域における様々な実践において学ぶことが必要です。

○サービスの透明性・質の確保

利用者の日常生活の様子について

週に 3 日以上日中活動をされており休日は自由に過ごされております。

余暇支援として昼食作り（調理実習）買い物支援、外出支援を実施

※支援の質の向上のための取組として、8：30 と 16：00 の申し送りにて

情報共有及び意見交換を行い引継ぎする。

○利用状況

利用者数（令和 8 年 2 月 1 日現在）

・9 名（定員 10 名）個室

区分 4　0 名　区分 3　4 名　区分 2　5 名　区分 1　0 名　計　10 名

・利用者平均年齢　55.5 歳

・病名：統合失調症 6 名　妄想型統合失調症 2 名　アルコール性精神障害 1 名

・住所地（住民票住所）

大和市　5 名　座間市　1 名　横浜市　1 名　茅ヶ崎市　1 名

藤沢市　1 名

・日中活動先

デイケア　5 名

就労支援 B 型作業所　4 名

・収入：　生活保護　障害年金　生保＋障害年金　老齢年金

○運営状況（協議内容・研修・職員体制等）

・運営費：国と都道府県からの助成と利用者実費

・職員：職員配置加算Ⅰ

日勤 8：30～16：30（夜間緊急時はオンコール体制）

○森の家の各種取組状況（BCP（業務継続計画）含む）

感染委員会
防災対策
避難訓練（年２回以上地震や火事を想定した訓練を実施）
消防設備　点検（年１回）
空調点検（年に２回）
入居者ミーティング（月１回）
スタッフミーティング（月に１回）
カンファレンス（月に１回）
利用者１人１人が自分らしく安心して生活が出来る
情報の共有、支援の方向性の統一を図る
共用場所清掃
居室清掃確認
金銭管理（小遣い帳チェック：原則金銭の預かりは行わない）
服薬管理
日中活動（週３日以上通所）
起床・就寝　生活リズム改善
日常生活の支援（洗濯・入浴）
権利擁護の取り組み（連絡先等掲示）
苦情解決責任者（森の家管理者）、苦情解決受付担当者（森の家サービス管理責任者）
虐待防止責任者（森の家サービス管理責任者）
苦情解決第三者委員：弁護士・大和病院医療相談室長
～流れ～
苦情解決窓口（管理者：サービス管理責任者）に申し出ても解決できない案件は
第三者委員が対応

○事故等の状況（ヒヤリハット報告）

◇事例①◇女性　　75 歳

内容

玄関内側にて方向転換をした際に尻もちを突く格好で転倒。当時は雨が降っており室内湿度が高く床が少々湿っていた為、滑って転倒。職員介助するも自力での立位保持困難、左足関節腫脹にて介護タクシーにて整形外科受診。

レントゲン等各検査実施“左脛骨遠位端骨折（ひだりけいこつえんいたんこっせつ）”と診断にて入院・手術

➡リハビリ後も自力歩行困難にて有料老人ホームに移行

施設の対応

入院及び手術における手続きと付添、定期的な面会、日用品やオムツの購入、公的手続き
居室整理、有料老人ホーム手続きと訪問　　など

◇事例②◇　女性　　60 歳

内容

夜勤者が 21：00 に就前空薬袋が未提出にて訪室し声掛けを行った際に、既に服用下との返答にて、翌朝空薬袋回収の声掛け実施。暫くして就前薬の残薬が 1 包多いと言われ前夜に服用していなかった事が判明。

施設の対応

薬カレンダーを購入し活用

薬袋に日付を記入、定刻に空薬袋が提出されない場合は、薬カレンダーの残薬を確認

○年間行事

・8 月　夏祭り（大和病院：花火）　・10 月　大和フェスティバル

・11 月　大掃除＆茶話会　・12 月クリスマス会

・通年　調理実習

○地域行事のご案内

・8 月　夏祭り（大和病院：花火）　・10 月　大和フェスティバル

□施設見学（訪問）

・玄関➡娯楽室➡洗濯室➡利用者居室➡非常階段の順に訪問

【意見交換】

◇自治会長：食事の提供について（朝 200 円・昼 400 円・夕 400 円）物価高騰による値上げは？

施設：開設当初より値上げはしておらず、現在のところ予定なし

◇自治会長：大和市からの補助金の有無

施設：有り。施設整備費、運営費、入居者家賃について説明

◇大和市民活動センター　拠点やまと会長：　年間イベント「花火大会」「大和フェスティバル」について

施設：例年行われている行事。引き続きのご参加のお願い

◇利用者家族：森の家の年間行事について、家族も参加出来るイベントは無いか？

施設：年間行事をお伝えし、ご家族が参加出来るようなイベントがあれば随時お知らせとした

□閉会のあいさつ